

令和4年度 青空保育園 自己評価表

令和4年度 保育士27名に対し全国社会福祉協議会から出ている「人権擁護のためのチェックリスト」を利用しました。「子どもを尊重する」ことや「子どもの人権擁護」について保育を振り返り自らの保育の質を高める為、自己評価を行っています。チェックリストに掲載されている、している（していたことがある）は、今年度だけでなく逆のぼっての評価となっています。

1. 子ども一人ひとりの人格を尊重しないかかわり

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかかわり	していない	している (したことがある)
1	登園時	朝、母親に抱かれて、なかなか離れられない子どもに「ずっと抱っこしてもらっていると恥ずかしいよ」と言葉をかける	27	0
2	日中	製作活動で子どもが書いた作品をみて、「そこ違うよ。もう一枚書いてみる?」とだけ言って、書き直すように働きかけた。	25	2
3		排泄失敗への対応をその場で行ったり、周囲に知らせたり、その失敗を責める言葉かけをする。	26	1
4		子どもが、友だちをたたく等、良くないことをした際に、執拗に責めるような言葉かけをする。	25	2
5		子どもが保育者に話しかけた際、「今忙しいから後にして」と言う。	23	4
6		苦手なことを渋っている子に、「早くやって。できないなら後ろに行って」と言ったり、他者と比較したりなど否定的な言葉かけをする。	23	4
7	昼食時	食事の際、こぼす等の理由で、テーブルに給食のメニューをすべて配膳せず、食べた次のおかずをあげる。または、こぼすたびに叱りながら食べさせる。	21	6
8	降園時	お迎えに来た保護者に「A君は、今日はケンカをしてお友達を泣かせてしまいました」と他の保護者にも聞こえるように言う。	27	0
9	その他	子ども同士のトラブルが起きたとき、子どもたちの言い分を聞かず、一方的に判断を下す。	27	0
10		自分から訴えてトイレに行くことができるようになった子どもに対して「おしっこ出ない」と訴えていても、トイレに行くように促す。	20	7

2. 物事を強要するようなかかわり・強迫的な言葉かけ

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかかわり	していない	している (したことがある)
1	日中	集団行動をするための言葉かけをした際、言葉かけを聞かない子どもに「〇〇しないなら〇〇できないからね」と言葉をかける。	9	18
2	昼食時	ごはんをこぼした子どもに対して、床に落としたものを拾って食べるように促す。また、ほかの子どもが大勢いる前でそのことを指摘する。	27	0
3	午睡時	なかなか寝付けずにいる子に「早く寝てよ。あなたが寝ないと仕事が出来ないんだよね」と言う。	26	1
4		寝ずに話をしている子どもに対して、外で寝るように言ったり、布団を友だちの布団を離して敷いたりする。	22	5
5	その他	どなったり、「〇〇しなさい」との言葉や子どもが怖がるもの（鬼等）を使ったりして、子どもの保育者の思い通りに動かそうとする。	24	3

3. 罰を与える・乱暴なかかわり

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかかわり	していない	している (したことがある)
1	日中	子どもの人数チェックをする際、子どもの頭を手ではたくようにして人数を数える。	27	0
2		並ぶときなどに、子どもの自発的行動を待てず、腕を掴んで引っ張る。	25	2
3		子どもを注意する際に、「だめよ！」と言って子どもの手を叩く。	27	0
4	午睡時	なかなか眠らない子どもに布団を頭からかぶせるなどして強引に押さえつけ、パンパンと強く布団を叩く。	27	0
5	その他	保育者が子どもに注意をしたが、言うことを聞かなかった子どもに対し、廊下に立たせる、散歩に行く際に置いて行こうとするなどの罰を与える。	27	0

4. 一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しないかかわり

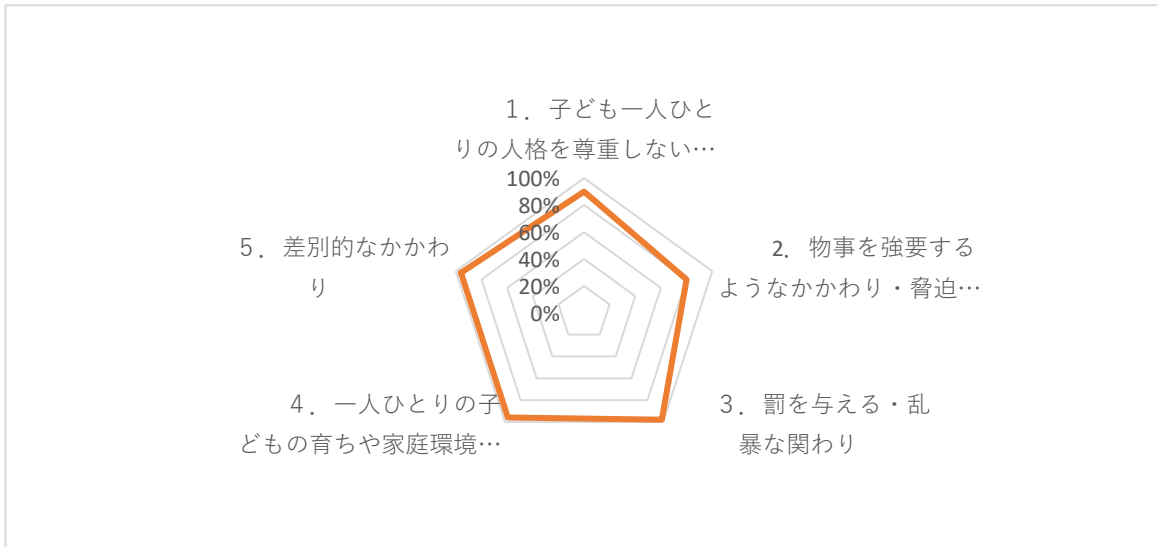
No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかかわり	していない	している (したことがある)
1	降園時	いつも時間ぎりぎりのお迎えになる子どもに対して、「〇〇ちゃんのお母さん、今日も遅いね」と言う。	26	1
2	その他	登園が遅い、服が汚れている、お風呂に入っていない、提出物の遅れ等の際に、子どもに「また〇〇君のお母さん忘れたの。いつも忘れて困るね。」や「昨日お風呂に入れてもらわなかったの。」など否定的な言葉がけをする。	24	3
3		いつもぎりぎりの時間にお迎えにくる保護者に「いつもぎりぎりですね」と言ったり、保護者が提出物を忘れた際に「いつも忘れて困ります」と言ったりする。	27	0
4		「お休みの日にどこに行ったかお話して」との問いかけについて、クラス子どもたち『全員』に発表してもらう。	27	0

5. 差別的なかかわり

No.	一日の流れ	「良くない」と考えられるかかわり	していない	している (したことがある)
1	登園時	挨拶をしてきたか否かにかかわらず、特定の子どもにだけ「おはよう」と言葉がけをする。	27	0
2	日中	いつまでも泣いている男の子に、「男の子だからいつまでも泣かない」や、乱暴な言葉使いをする女の子に「女の子だからそんな言葉を使ったらいけない」と注意する。	26	1
3	昼食時	少食の子に対して、子どもの意見を聞かず、はじめから非常に量を少なくして配膳する。	25	2
4	午睡時	寝かしつける際に、いつも同じ子どものそばにばかりつく。	27	0
5	降園時	クラス全員で帰りの支度をしている時に、なかなかできない子どもに「〇〇ちゃんは早くできないのね、だめな子になっちゃうよ」と言う。	27	0

チェック結果

1. 子ども一人ひとりの人格を尊重しない関わり	90%
2. 物事を強要するようなかかわり・脅迫的な言葉かけ	80%
3. 罰を与える・乱暴な関わり	98%
4. 一人ひとりの子どもの育ちや家庭環境を考慮しない関わり	96%
5. 差別的なかかわり	96%



総評（保育士コメント抜粋あり）

- ・こともが話しそうにしたときは、できるだけ耳を傾けるようにしているが、すぐに対応できない場合は、後で必ず聞くように心がけている。
- ・給食の配膳について、スープの中にご飯をいれてしまったり、スープを先に飲んでしまいメインの食事が進みが悪くなってしまうこともあり、スープは途中で配ることがあった。こぼす、こぼさないに着目するのではなく、食べる意欲を育む環境作りを心がけるようにする。
- ・配膳に関して、その子の月齢にあった声掛けなどし、食育につながるよう見守っていくことが大切だと思った。
- ・「〇〇しないなら〇〇できないからね」と脅しているつもりはないが、その時保育者の話を聞く、並ぶ、入室するなどすべきことが話に夢中になってしまい、周りの子ども達に迷惑かかっている際に伝えてしまうことがある。
- ・集団で動けるように「〇〇できないよ」という声掛けをしてしまっていた。子どもたちが頑張れる声掛けを心がけようと思う。
- ・子どもたちが自分自身で考え、行動する力を育むことが出来るよう肯定的な言葉かけをして子どものやる気を育てていこうと思う。
- ・トイレ誘導の際、全員に声をかけてしまっている、またトイレに行きたくないと言う子どももトイレに行ったら排泄する場合もある。必要以上に誘わないように気をつけようと思う。
- ・他の友だちに迷惑であることを何度伝えても止められないときに、熟睡している子の事を考えて迷惑のかからない場所にベットを移動させることはある。なぜそうになってしまうのか、今後どうすればいいのか一緒に考えられるようにしているが、最終的には子どもが自分で考えて行動できるよう援助していきたい。

※令和4年度の職員自己評価結果は以上です。新型コロナウイルス感染拡大の為、日々の生活の中で常に換気や密にならないように気をつけながら保育を行っています。また行事や交流会など中止や縮小での実施でしたので、より良い提供ができるようにするにはどうしたら良いかなど、職員全体で考え取り組むことが出来ました。今回のアンケートは主に人権擁護、子どもを尊重するための保育についてでしたので、日々のなにげない言葉かけや仕草、行動が子どもの自尊心を傷つけてしまったり 自主的な行動の妨げになることもあるので、信頼関係を築き子どもの気持ちや状況に配慮したかかわりを意識して保育を行いたいと思います。またアンケートで終わらせることがないよう、今後の保育に役立ていけるようにしていきたいと思います。

